

単元7 開国と幕府の終わり(T)

①開国

ペリーの来航…中国(清)がアヘン戦争に敗れる

→異国船打払令を改め、薪水給与令(来航する外国船に燃料・食料を支給)を発令。

アメリカは、捕鯨船・貿易船の寄港地として日本を開国させるためペリーを派遣。

→1853年軍艦4隻で浦賀沖(神奈川県)に来航。幕府は国書を受け取り翌年の回答を約束
日本の開国…1854年、ペリーが軍艦7隻で再び来航。日米和親条約を結ぶ

→下田・函館の2港を開港、アメリカ船への燃料・食料・水の補給、アメリカ領事の下田駐在を認める
不平等な通商条約…初代アメリカ総領事ハリスは通商条約を結び貿易を要求。

1853年、大老の井伊直弼らは幕府の判断で日米修好通商条約を結ぶ

→神奈川・函館・長崎・新潟・神戸の5港を開く、自由な貿易を認めた

→領事裁判権(治外法権)を認める…外国人を日本の法律で裁くことができない

→関税自主権がない…輸入品の関税率を決めることができる権利

②新たな政権を目指して

開国の影響…貿易港に設けられた居留地で貿易。貿易相手国は南北戦争の影響を受けたアメリカにかわり、イギリス中心。安価な綿織物・綿糸が輸入され、国内の生産地は大きな打撃。

輸出の中心は生糸で国内は品不足→他の生活用品も値上がり。金が海外に大量流出。

→物価が不安定になり民衆の不安が高まる。

安政の大獄…幕府が独断で開国したことにより、不満が爆発→井伊直弼が対立派の大名・公家や長州藩の吉田松陰らを処罰(安政の大獄)

→直弼への不満が高まり、1860年に桜田門外の変で暗殺される

攘夷運動の高まり…欧米諸国の軍隊常駐の動きに対し、長州藩を中心に尊王攘夷運動がさかんに。

公武合体策を支持する薩摩藩と対立

→長州藩は外国船を砲撃し朝廷に攘夷を働きかける→幕府の攻撃で幕府に従う。

倒幕への動き…1863年、生麦事件(1862年に薩摩藩士がイギリス人を殺傷)の報復としておきた

薩英戦争でイギリス艦隊に鹿児島を砲撃された薩摩藩は西郷隆盛・大久保利通らが

倒幕の考えを強める。1864年に四国連合艦隊(イギリス・フランス・アメリカ・オランダ)

に下関の砲台を占拠される四国連合艦隊下関砲撃事件を機に長州藩の高杉晋

作・木戸孝允らは攘夷が不可能であることを知り、倒幕への考えを強める

→土佐藩の坂本龍馬らの仲介で薩長同盟を結ぶ→この働きに対して幕府は長州藩を

再び攻めるが苦戦。14代目将軍徳川家茂の死をきっかけに撤兵。

③幕府の終わり

社会不安と世直しへの願い…幕府に対する信頼がゆらぎ、厄除けの「はやし神」「おかげ参り」が

盛んになり、新しい宗教が起こる。世直しの一気や打ちこわしが相次ぎ、また

「ええじゃないか」の騒ぎもあった。

幕府の滅亡と新政府の誕生…1867年明治天皇が即位。10月、新政権で主導権を維持しようと

15代将軍徳川慶喜は朝廷に政権を返還(大政奉還)。倒幕派は12月、天皇

中心の政治に戻すことを宣言し、新しい政府を作った(王政復古の発令)。

慶喜は新政府に参加できず、旧幕府領の返還を命じられた

→不満を持つ旧幕府軍は1868年1月鳥羽・伏見で新政府軍と戦いを始める

→4月、江戸城が明け渡される

→1869年5月、函館の五稜郭で旧幕府軍は降伏(戊辰戦争)

→新政府軍のもとで国内が統一される。

※PICK UP!※

・尊王…天皇を尊う

・攘夷…外国勢を排除する

単元7 開国と幕府の終わり(S)

①開国

ペリーの来航…中国(清)が_____に敗れる

→_____を改め、_____ (来航する外国船に燃料・食料を支給)を発令。
アメリカは、捕鯨船・貿易船の寄港地として日本を開国させるためペリーを派遣。

→1853年軍艦4隻で_____ (神奈川県)に来航。幕府は国書を受け取り翌年の回答を約束
日本の開国…1854年、_____が軍艦7隻で再び来航。_____を結ぶ

→_____の2港を開港、アメリカ船への_____の補給、アメリカ領事の_____駐在を認める
不平等な通商条約…初代アメリカ総領事_____は通商条約を結び貿易を要求。

1853年、大老の_____らは幕府の判断で_____を結ぶ

→_____の5港を開く、自由な貿易を認めた

→_____ (_____)を認める…外国人を日本の法律で裁くことができない

→_____がない…輸入品の関税率を決めることができる権利

②新たな政権を目指して

開国の影響…貿易港に設けられた居留地で貿易。貿易相手国は南北戦争の影響を受けたアメリカにか
わり、イギリス中心。安価な綿織物・綿糸が輸入され、国内の生産地は大きな打撃。

輸出の中心は生糸で国内は品不足→他の生活用品も値上がり。_____が海外に大量流出。

→物価が不安定になり民衆の不安が高まる。

安政の大獄…幕府が独断で開国したことにより、不満が爆発→_____が対立派の大名・公家や
長州藩の_____らを処罰(_____)

→直弼への不満が高まり、1860年に桜田門外の変で暗殺される

攘夷運動の高まり…欧米諸国の軍隊常駐の動きに対し、長州藩を中心に_____がさかんに。

公武合体策を支持する薩摩藩と対立

→長州藩は外国船を砲撃し朝廷に攘夷を働きかける→幕府の攻撃で幕府に従う。

倒幕への動き…1863年、_____ (1862年に薩摩藩士がイギリス人を殺傷)の報復としておきた

_____でイギリス艦隊に鹿児島を砲撃された薩摩藩は_____・_____らが

倒幕の考えを強める。1864年に_____ (_____・_____・_____)に_____の砲台を占拠される_____を機に_____藩の_____

_____らは攘夷が不可能であることを知り、倒幕への考えを強める

→土佐藩の_____らの仲介で_____を結ぶ→この働きに対して幕府は長州藩を
再び攻めるが苦戦。14代目将軍徳川家茂の死をきっかけに撤兵。

③幕府の終わり

社会不安と世直しへの願い…幕府に対する信頼がゆらぎ、厄除けの「はやし神」「おかげ参り」が
盛んになり、新しい宗教が起こる。世直しの一気や打ちこわしが相次ぎ、また
「_____」の騒ぎもあった。

幕府の滅亡と新政府の誕生…1867年_____が即位。10月、新政権で主導権を維持しようと
15代将軍_____は朝廷に政権を返還(_____)。倒幕派は12月、天皇

中心の政治に戻すことを宣言し、新しい政府を作った(_____)。

慶喜は新政府に参加できず、旧幕府領の返還を命じられた

→不満を持つ旧幕府軍は1868年1月鳥羽・伏見で新政府軍と戦いを始める

→4月、江戸城が明け渡される

→1869年5月、函館の五稜郭で旧幕府軍は降伏(_____)

→新政府軍のもとで国内が統一される。

※PICK UP!※

・尊王…天皇を尊う

・攘夷…外国勢を排除する